

岩手県在宅保健活動者連絡協議会

会報 ひまわり

第30号
20周年
特大号



創刊号から最新号までの会報

平成16年2月に設立された「岩手県在宅保健活動者連絡協議会」は、今年度20周年を迎えました。今号は「20周年特大号」でお届けします。

contents

20周年に寄せて

会長あいさつ ……………	2頁	令和5年度総会・研修会報告 ……	10頁～
歴代会長・事務局あいさつ ……	3頁～	令和5年度地区活動予定……………	13頁
現役員から ……………	5頁～	会員の声 ……………	14頁～
おもいでアルバム……………	8頁～	お知らせ ……………	16頁

20周年に寄せて

会長あいさつ

「岩手県在宅保健活動者連絡協議会

20周年を迎えて」

岩手県在宅保健活動者連絡協議会

会長 佐々木 順子



岩手県在宅保健活動者連絡協議会は平成16年2月に設立され、20周年を迎えるにあたり今日まで先輩会員のご努力と関係機関のご支援、ご協力を得られ、会の活動が継続されていることに深くお礼と感謝を申し上げます。

本協議会は保健師、看護師、助産師、栄養士、歯科衛生士の5職種から構成されており、岩手県内6ブロックに分かれ豊富な知識と経験を活かして地域住民の健康づくりを支援し、地域の保健・福祉に寄与する会であります。

協議会の設立開始から、健康講座の創作劇(メタボ、食事、歯科等)、「おしゃれ講座」、「認知症健康講座劇」を実施し、他県から視察にこられるくらい地区活動も活発に行い、行政・社協等の要請に応じ、特定健診受診率向上への支援も行ってきました。

平成23年3月11日には東日本大震災が発生し、発生時から沿岸会員は自ら被災しながらも自主的に避難所の運営支援や被災者支援を、内陸会員は避難された方々の通院の付添い、健康相談、傾聴、歯科、運動指導等を行いました。また、県要請による仮設住宅訪問や被災地住民の家庭訪問等の活動も実施しました。

平成29年からは岩手県事業への協力として、地域づくりによる介護予防推進支援事業

に係るアドバイザーを推薦し「通いの場づくり」の協力として、岩手県内6ブロック各1名を配置して介護予防事業に取り組んでおります。

令和2年には新型コロナウイルスが感染拡大し、感染拡大防止のため総会・役員会は書面開催となりましたが、この間、行政の要請により新型コロナワクチン接種の問診、健康管理、特定健診問診等の支援をしました。地域活動は縮小や中止とせざるを得ないこともありましたが、感染状況を把握しながら、各地域において特色ある活動をすすめてきました。

自然災害の多発や新型コロナウイルス流行の繰り返しと激しく変化する時代にあって、5職種からなる「いわてひまわりの会」の専門職への期待は高まってくると思います。そういった中で、豊富な知識と経験、人との繋がりを活かした本協議会の活動を今回20周年特大号にまとめました。今後も地域住民の健康づくり、保健、福祉、子育て支援など自身の健康を保持しながら貢献していく所存です。

最近働き方改革等で65歳まで雇用延長され、働いている会員も多くなっています。友人や知人のコミュニケーションを活かして会員数の増加を図りましょう。会員相互の親睦とレベルアップのための研修を企画しますので、ぜひ地区代表に声を届けてください！！

最後に国保連合会の力強いご指導、ご協力をいただき感謝申し上げます。今後も本協議会の発展のため国保連合会のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

歴代会長あいさつ

「設立20周年に寄せて」

初代会長

(平成16年～21年度)

川代 アキ子



「いわてひまわりの会」設立20周年、おめでとうございます。

早いものですね。会の設立当時を顧みますと、国保連における保健活動は、温泉保養施設「ひまわり荘」を中心にして行われておりました。

しかし突如として、各県毎に保健活動協議会を設立して国保連の活動を支援していくことについて国から提案され、当時の国保中央会からは「どの様な内容でもよい、皆の今までのキャリアを駆使してやってほしい……」という話がありました。

このことを受けて、数人に発起人として声がかかり、まずは、先進地の宮城県を訪問視察して話し合いを持ち、構成メンバー、諸事の取りまとめの事務局は国保連として会が設立されました。

その後、具体的な活動については、話し合いや研修会を重ねながら動き出しました。何にしても広域県の当地では、物理的に情報の共有に時間を要するため活動内容の一体化は難しいものであり、このことから地区ブロック制を取ることが決定されました。実際に行ってみると、地域の特性が生かされることで活動が活発になり、よき方策であったと思っております。

具体例として、M地区で行った「寸劇」について述べてみます。健康教室として、「肥満予防」

をテーマに行ってみました。実施側も参加者もどうあったら効果的に相互理解が得られるか、という視点からシナリオを起こして演じるということに取り組みました。実施してみるとあれこれと意見が出され、考察され、参加者と実施側の一体感が得られました。反響もよく思い出深い活動の一環となりました。

最後になりますが、新会長さんのお言葉「自分に無理なく、楽しんで活動」にやさしい思いが伝わりました。今後も身の丈に沿った和やかな活動が、住民の皆様と共にありますことをご期待申し上げます。

「20周年に寄せて」

2代目会長

(平成22年～25年度)

村井 隼子



3年に及ぶコロナ禍で私達の活動もいろいろ制限を受ける中、各地区で工夫をしながら活動を続けている皆様のバイタリティに敬意を払います。

さて、国では今年度よりこども家庭庁が発足し、異次元の少子化対策が打ち出されました。一方、超高齢化に向けた対策も急がれるところです。会としてはこれまで母子福祉分野への取り組みはほとんどありませんでした。これまでの活動を振り返りつつ、今後の活動の方向づけを話し合うことも意義あることと思われま。この時代に私達の持てる力を具体的に発揮し、どのような形で社会に還元できるかお互いに知

恵を出し合えたらと考えるところです。会の発足より会員として参加させていただき早20年、感慨もひとしおです。会員同士の温かい交流も、九州出身の私にとって貴重な楽しい思い出となっています。本当にありがとうございました。

「設立20周年に寄せて」

3代目会長

(平成26年～令和3年度)

阿部 恵美子



思い起こせば、村井会長からバトンを受けて心に銘じていたことは、まず会員である私達が、私が「元気であること」、次に現役時代の恩返しとして「国保保健事業推進の最良の応援団であること」「社会貢献を忘れないこと」の3点でした。今、その形が『フレイル予防』の活動として、自分が生活している地域での「住民主体の通いの場」に集い参加し続けていることにつながります。これらは、当会の活動で岩手・東北・全国の皆さんから「これから100年を生きる知恵」としていただいた私の学びでもあります。

また、特にもこの10数年間は3.11東日本大震災・COVID-19の一大事に、当会（現役を退いている仲間）が多職種の専門職能団体として、多くの関係者に支えられ、関わることでできたことに誇りを持ち感謝したいと思います。ありがとうございます。

事務局あいさつ

「設立20周年を祝して」

岩手県国民健康保険団体連合会

総務事業部長兼保健介護課長

宮田 和彦



岩手県在宅保健活動者連絡協議会が設立されてから20周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。この節目を迎えられましたのも、会員の皆様方のご尽力の賜物と存じます。

また、会員の皆様におかれましては、保健師、助産師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士など専門職の豊富な知識と経験を活かし、積極的に地域住民の健康づくり活動を展開されておりますことに敬意を表する次第でございます。

さて、岩手県においては、健康寿命の延伸と脳卒中死亡率全国ワースト1からの脱却を大きな柱とする健康づくりの推進に取り組んでおりますが、貴協議会は、健康づくりサポーターとして、本県の保健活動に欠かすことのできない組織となっていることから、引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

結びになりますが、岩手県在宅保健活動者連絡協議会の益々のご発展と会員の皆様方の更なるご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



国保イメージキャラクター
「ハピルスくん」

現役員から

副会長

内記 敬子（歯科衛生士）

私が本協議会に入会したのは平成30年です。その翌々年からコロナが蔓延し、あらゆる活動、集会が中止や制限を受ける状態が続き、私的にはいまだ新参者の気分であるのが正直なところではあります。しかしながら入会してみると、諸先輩方が大変意欲と向上心を持って各地域で御活躍されている姿に大変感銘を受けています。折角身に着けた資格が退職と共に終わりではなく、自分の気持ち次第でずっと活かせるのだと背中を押して頂いている気がしています。

私は今までは役場から依頼のある介護予防事業の「歯つらつ健康教室」を年に数回担当させて頂いたり、地域のサロンで食前のお口の体操をやったりしています。

今後の課題はいかに仲間を増やすかですが、「介護してるから…、孫が生まれるし…」等々。分かります、痛いほど。そこが一番悩ましい所です。

盛岡地区代表幹事

佐々木 みや子（保健師）

在宅保健活動者連絡協議会は、市町村の国保被保険者の健康づくりを支援することを目的に、国保中央会の指導の下に組織化されました。

当会の設立当初は、おしゃれ講座や創作健康劇による健康講座、健康まつり等支援、震災被災者への支援、特定健診、特定保健指導支援等、盛岡地区のスタッフもその時々に応じて、市町村支援に多いに貢献してきました。

平成30年度からは、助成金を使い、地区独自で前潟イオンホールでの介護予防教室等にも取り組み、続いて、青山和敬荘地域包括支援センターの依頼により、青山地区3会場でいきいき百歳体操、ミニ講話等の介護予防教室を支援してきました。

県内の市町村保健事業が時代とともに変化し、我々の活動の場も変わりました。今後、活動場の発掘や新会員の加入促進等課題もありますが、楽しく活動するのが第一と考えています。

花巻地区代表幹事

高橋 喜久子（管理栄養士）

最初の頃は健康体操、寸劇、おしゃれ講座など幅広く活動できてましたが、次第にコロナ禍もあって活動内容が狭くなってきました。

花巻地区では長寿福祉課で市全体の介護予防教室を進めているため、最近はそれを手伝う形になり、「通いの場」における体操会やお茶会サロンの当番や役割を決め、コロナ感染対策をしながら20人程の住民主体で行っています。健康まつりなどのイベントができず、なかなか出番がありませんが、地域の「通いの場」で住民みんなが主役、みんなが脇役で参加する、認知症寸劇「人生いろいろ誰もがとおりやんせ」を楽しみながら実施したところ、とても好評でした。今後の活動のために、テーマ毎の寸劇を誰でもどこでも演じられるように普及することが必要と考えます。

マスクを外し、いろいろな行事が復活してきます。高齢者でも地域で役立つ社会資源、これからに期待したいと思います。

久慈地区代表幹事

藤原 みよ子 (保健師)

設立 20 周年おめでとうございます。国保連のスタッフの皆様、そして歴代の会員の皆様のご尽力によるもの、と改めて敬意と感謝を申し上げます。

久慈地区の幹事として、昨年 4 月に会員と同時に幹事に就任して 1 年が経過したところです。3 回の会議に出席し他の地区の活動を伺うことにより、当地区でも在宅の健康づくりに携わる多職種の皆様（会員、非会員含めて）が特定健診、介護予防、母子保健、健康づくり事業そしてボランティア活動に奮闘している状況であることに気づかされました。有資格者ということから定年しても働く形態を変え、生涯現役を目指し社会貢献している先輩が多いことを感じています。当地区でも諸先輩方が住民の健康を支える取り組みをされていてボーっとしてられない状況です。このことは現役時代に培った多くの知識と経験が宝となり継続できているものと思っています。アナログからデジタルと社会構造も変化し、生活様式も複雑化しアプローチが大変な時代ではありますが、健康づくりの基本は変わらないものと思っております。

幹事会に参加する度、他地区の幹事の皆様のパワーを感じ不安になりますが、自分ができることを模索しながらお手伝いができたらと考えています。この会の益々のご発展をご祈念申し上げ寄稿いたします。



二戸地区代表幹事

中里 早苗 (保健師)

この記念すべき時にあたり、過去の活動を振り返り、本会の役割を再確認することができました。二戸地区はすべての会員が保健師で、管内の健康関連イベントやフェスティバル、健診の支援、最近ではコロナワクチン接種のスタッフとして活動の場があり、長年、地域で健康づくりの業務に従事した経験を様々な場面で活かすことができました。活躍する場が変わっても“保健師”としてのスタンスは不動であり、柔軟に対応することができました。

本会では毎年、集合研修が行われてきました。現役を退いた者にとっては、最新の知識を得る場として貴重な場となっていることに気づかされます。そこで学んだことを、地域活動に活かすことができました。コロナ禍で会員と対面で会う機会がない期間を経て、会って話をする、共に学ぶことの大切さを感じているところです。

今後も情勢の変化に対応できる研修・交流の場をこの会に期待しております。



沿岸地区代表幹事

植田 幸子(保健師)

震災後、早期退職し少し何も考えない生活を望み、時々市町村の健診などのお手伝いをする生活を送っていたところ、先輩からのすすめで会員となりました。はじめての役員会に出席し、県内各地での活動を知り、年間を通して活動報告など何をどのようにしたらよいものかと困惑したこと事を覚えています。

まずは会員へ連絡、情報交換から始めました。そして、役員会のたびに活動方法について手がかりをつかもうと必死でした。「どんなことでもよい」と役員の方から助言をいただき助かりました。

今後も専門職としてのつながりでその仲間にも助けられながら、無理せず、可能な範囲で自らの健康づくりもしつつ、各市町村の支援希望に沿った活動ができればと考えています。



県南地区代表幹事

小野寺 ヨシ子(保健師)

県在宅保健活動者連絡協議会設立 20周年記念おめでとうございます。私が在職中に設立され、先輩方が色んな保健事業に関わり、生き生きされていたように感じていました。私は保健師が好きで、退職後も活動出来たら良いなと思っておりました。

現在も介護予防に携わり、私を含め住民の方と「元気で長生き」を目指し頑張っております。しかし、私が活動出来ているのは、組織からの依頼ではなく個人でした。他地区では健診等に従事する際、この協議会を通して依頼されるという話を聞き、協議会活動の素晴らしさを実感しました。

現在は組織力が弱く組織に所属する方々も少ないように感じるのは私だけでしょうか。私自身、加入は退職後数年経ってからなので人のことは言えませんが……。この会に入って先輩からは知恵やパワーをいただき、先輩方は若さをいただき、お互い持ちつ持たれつで楽しく活動しております。現状の活動は、総合的な活動から専門分野的活動に変遷し、より専門分野を追求するための活動が多く、住民全体を見る力が弱くなりつつあるように感じます。後輩が元気で住民と共に活動できるよう、陰ながら応援していきたいと思っております。そのためにもこの会が長く続くことを切に望みます。

思い出アルバム

～10周年以降の活動の写真を掲載しました～



平成 27 年度 総会及び研修会



平成 27 年度 雫石町第 3 回保健推進員研修会におけるメタボ予防講座支援



平成 28 年度 総会及び研修会



平成 28 年度 岩手県脳卒中予防県民大会 2015 支援



平成 29 年度 総会及び研修会



平成 29 年度 東北地方在宅保健師等会連絡会



平成 30 年度 総会及び研修会



平成 30 年度 東北地方在宅保健師等会連絡会



令和5年度 総会及び研修会を開催

5月25日、岩手県国保会館で、岩手県在宅保健活動者連絡協議会総会及び研修会を4年ぶりに参集開催し、20名の会員が出席しました。

◆総会◆

議長に県南地区の保健師
小野寺ヨシ子氏が選出され、
議案審議が行われ、全て承認
されました。



報告事項

報告第1号

「令和4年度岩手県在宅保健活動者
連絡協議会事業報告について」

<国保連合会保健事業への協力>

- ・岩手県国保連保健事業推進会議
会長出席(R4.10.3)

<岩手県事業への協力>

- ・地域づくりアドバイザーの派遣と協力
(R4.4～R5.3)

<会報「ひまわり」の発行>

- ・会報「ひまわり29号」発行
(R4.6.10)

<会議等への参加>

- ・東北地方在宅保健師等会連絡会議
役員4名出席(R4.12.1)
- ・令和4年度都道府県在宅保健師等会
全国連絡会資料を役員へ提供 (R5.3)

<その他協議会に係る保健・福祉活動等>

- ・「岩手県在宅保健活動者連絡協議会
会員募集案内」送付 (R5.1.17)

<地区ブロック活動>

○盛岡地区

- ・はつらつ健康セミナー（青山等3か所：健康チェック、いきいき百歳体操、講話）
- ・市民体力テスト（血压測定、救護活動）
- ・紫波町いこいの家（健康相談、血压測定）
- ・長橋町元気アップ体操教室（脳レク）
- ・厨川地区医療保健講座（血压測定、講話、いきいき百歳体操）
- ・盛岡市ボランティアまつり(活動紹介)
- ・国保連職員健診事後指導（2回）
- ・定例会（4回）、通信発行（6回）

○花巻地区

- ・サロン、体操会（月1～2回、太田公民館等4か所：健康相談、お茶会、元気でまっせ体操、健口体操）
- ・コロナ感染、濃厚接触者特定時の対応の仕方（宮野目葛地区：講習会）
- ・情報交換会（2回）

○久慈地区

- ・定期オレンジカフェ（6回）：健康相談、健康チェック、押し花、ぬり絵、切り絵等
- ・出前保健室（宇部公民館、小袖保育園）：健康チェック、押し花、みづき団子等
- ・小中学校水泳大会（救護）
- ・あまちゃんマラソン大会（救護）
- ・もぐらんぴあマラソン大会（救護）

○二戸地区

- ・一戸町健診実施の支援（16日）、（問診）
- ・軽米町コロナワクチン接種（7月～3月）
（問診、状態観察）

○沿岸地区

- ・釜石市コロナワクチン接種（問診、観察）
- ・釜石市特定健診、がん検診（問診）
- ・釜石市壮年野球（救護）

○県南地区

- ・サロン（認知症予防、コロナ予防）：花泉等3か所、31回
- ・百歳体操（フレイル予防、認知症予防）：真柴等3か所、108回
- ・ホームヨーガ（ヨーガで健康づくり）：一関シニアプラザ等2か所、96回
- ・健康講座（講話、玄米二ギ二ギ体操）：JA女性部花泉支部
- ・交流会7回、通信発行7回

議決事項**議案第1号**

「令和5年度岩手県在宅保健活動者
連絡協議会事業計画について」

令和5年度事業計画**I 基本方針**

市町村における保健・福祉活動の重要性を認識し、住民の健康づくりを支援するため、豊富な知識と経験を活かし、地域の保健・福祉活動に寄与するとともに、会員の資質向上と親睦を図るため下記の事項を推進する。

II 目標

1. 高齢者の健康づくりについて、介護予防の面から支援する。
2. 地域の食育活動をとおり、若い世代か

らのメタボリックシンドローム等の対策につなげる。

3. 保健推進委員や食生活改善推進員等の住民組織活動を協力・支援し、地域保健活動のさらなる活性化につなげる。

III 具体的実施事項

1. 役員会等の開催
 - ・役員会 年2回（11月、3月）
2. 総会の開催
 - ・総会の開催 年1回（5月）
3. 研修会の開催
 - ・研修会の開催（総会と同時開催）
4. 国保連合会保健事業への協力
 - ・岩手県脳卒中予防県民大会への協力
 - ・岩手県国保連保健事業推進会議への参画
 - ・岩手県国民健康保険フォーラムへの後援
5. 市町村及び社会福祉協議会等の保健事業への協力
6. 岩手県事業への協力
 - ・地域づくりによる介護予防推進支援事業に係るアドバイザーの推薦及び事業協力
 - ・岩手県介護予防市町村支援委員会への参画
7. 会報「ひまわり」の発行
 - ・年1回の発行（8月）
8. 会議・研修等への参加
 - ・東北地方在宅保健師等会連絡会議
 - ・都道府県在宅保健師等会連絡会
9. 会員相互の情報交換
 - ・地区ブロック単位の電話連絡網の活用
10. その他、協議会が係わる保健福祉活動等
 - ・新会員加入促進に向けた取り組み

その他：報告

「地域づくりアドバイザー事業について」

本協議会が、平成29年から岩手県事業の協力として行っている「地域づくりアドバイザー事業」について、事業開始当初から地域づくりアドバイザーを担っている二戸地区代表幹事の中里早苗保健師より、これまでの5年間の活動と今後の方向性について報告いただきました。

～地区活動の充実に向けて～**◆意見交換会◆**

今年度は、職種別に4グループに分かれて「職種を生かした今後の活動」をテーマにディスカッションを実施しました。

全体報告では、職種を生かした活動として、市町村等から依頼を受けた際にはすぐに動けるように日頃から準備を行っておくことや、地域の健康教室等で各職種の特徴を出すこと（保健師：健康全般に関する講話の実施、管理栄養士等：調理研修、歯科衛生士：口腔ケア等）などの意見が出されたほか、多くのグループで各地区の活動内容について情報交換を行ったことが発表され、他地区を参考に今後の活動を実施していきたいとの報告が出されました。

<会員の声 ～総会・研修会アンケートから～>

- 地域で参考にできる事がたくさんあった
- 今回初めて職種を活かした集まりで、とても有意義でした
- 地域毎の特徴が聞くことができた

～ヨーグルトでお腹の健康づくり～**◆講演◆****「健康なカラダづくりと食の重要性」**

講師：株式会社明治コミュニケーション課
食育担当（管理栄養士）

百足 奈々 氏



百足講師は、ヨーグルトは栄養バランスの取れた牛乳に乳酸菌の働きを加えた食品であることや、3つ力（乳、菌、発酵）によって、腸内細菌のバランスを整え、お腹の調子を良好に保つことができると話されました。

<会員の声 ～総会・研修会アンケートから～>

- 日常食べているヨーグルト、牛乳のことを深く学ぶことができた
- 楽しくきくことが出来ました。自分の知識として、心に留めておきたい



令和5年度 研修会の様子

令和5年度地区活動予定

現時点での各地区の活動計画は次のとおりです

<盛岡地区>

- ・元気アップ体操教室実施
(いわて保健福祉基金助成金活用)
日程：7/24～2月末、月2回、計13回
会場：前潟イオン2階ホール
- ・市民体カテストの健康チェック、
救護支援2回(盛岡市スポーツ推進課)
- ・上堂地区介護予防教室、支援3回
(青山和敬荘地域包括支援センター)
- ・国保連職員健診事後指導支援
- ・盛岡市社協ボランティアまつり参加
- ・地区定例会

<花巻地区>

- ・元気出まっせ体操等
(高木小路公民館、江曾自治公民館、
好地会館、太田公民館：月2～4回)
- ・サロン白寿会(江曾自治公民館：月1回)
- ・おとめサロン(好地会館：月2回)
- ・ニコニコサロン(太田公民館：月1回)
- ・糖尿病患者と家族会
(花巻とうゆう会、年4回)
- ・定例会(7/14：学び学園にて、
簡単なマジック教室、他3回)

<久慈地区>

- ・定期オレンジカフェ(健康相談他)
- ・出前オレンジカフェ(健康相談他)
- ・大会等に伴う救護活動
- ・情報交換等うちあわせ会

<二戸地区>

- ・特定健診、がん検診の問診
一戸町、軽米町
- ・新型コロナワクチン接種 軽米町
(問診、経過観察)
- ・情報交換会(会員対象) 1月頃

<沿岸地区>

- ・特定健診受診者の問診 釜石市
- ・新型コロナワクチン集団接種 釜石市
(問診、ワクチン充填、状態観察)
- ・イベント等の参加者の救護活動

<県南地区>

- ・サロン(認知症予防、コロナ予防)
一関市花泉・猿沢・東山(年間)
- ・百歳体操(認知症予防)
一関市真柴・高梨・台町(年間)
- ・RFLJいわて参加
(一関遊水地緑地公園、9月)
- ・ヨガで健康づくり
(一関シニアプラザ、年間)
- ・研修、意見交換会(年6回)

※県内を6地区(盛岡・花巻・久慈・二戸・沿岸・
県南)に分けて、地区単位で活動しています。



～総会出席報告のはがきに寄せられた

20周年の感想や近況です～

20周年おめでとうございます。国保連、県、市町村等、指導・支援あつての私達、感謝の言葉が見つかりません。地に足がついた力強さを私達に与えてくださっております。人生100年時代、益々この活動が求められていると感じております。発会時の初心を忘れることなく諸先輩の皆様が築いた活動を継続していく事の大切さを改めて感じております。“参加する事に意義あり”応援団も必要です！！

石川 やよい（盛岡地区）

週2回、地区コミュニティセンターと温泉館で健康相談とシルバーリハビリ体操のボランティアをしています。在職中お世話になった住民の方々と今も交流できる事は、私も元気をもらえ、幸せ者だと思っております。こうした活動ができる事は「ひまわりの会」での研修会や、会員の方々との交流から様々なことを学ぶ事が出来た賜物と感謝しています。

藤田 フミ子（盛岡地区）



会員の声

20周年おめでとうございます。数年久慈地区担当をさせていただき、岩手県在宅保健活動者の事業を知ることが出来ました。また、国の方針や岩手県の動向を知り、他地区の行動力に自分も微力ながら頑張ろうと力づけられる内容でした。これからも「会報ひまわり」が届くのを待ちながら、我が家で在宅、時々活動させていただきます。

佐々木 容子（久慈地区）

役場（旧石鳥谷町）を早期退職してケアマネジャーの仕事に従事していた時、今は亡き後藤保健師に入会を勧められ、2～3年後に菅原先輩のお導きで会員となった。仕事をしながらだったので、実際に活発な寸劇などの活動に参加することはなかった。活動も多様化する時代となり、市から委託を受けた社協の介護予防事業の支援することが多くなっていった。以前はもっと東北地区への参加もあつたように思われ交流の機会も幅広く多かつたため、刺激を受け退職してもなお元気に活動を継続できたように思う。この期間に起こった東日本大震災、新型コロナ感染による活動の停滞は歴史に刻む大きな出来事だった。

大原 初美（花巻地区）

岩手県在宅保健活動者連絡協議会設立 20 周年おめでとうございます。設立にかかわった先輩のみなさま、歴代の役員のみなさま、国保連のみなさまに御礼と感謝を申し上げます。先輩の十文字良子さんからお声をかけていただき入会して 18 年になります。おかげさまで保健師退職後の人生が豊かなものになっております。専門的な研修や会員のみなさまとの交流、県内各地に出向いての保健活動の支援など幅広く体験できました。今はすべてが楽しい思い出です。総会や研修会に出席してみなさまにお会いできるのが楽しみです。今後ともよろしく願いいたします。

小野 洋子（二戸地区）



地域の保健・福祉活動に寄与するという活動目的にはほとんど参加できず申し訳ありません。近況：昨年からは畑を借りて野菜作りを始めました。年々体力の低下を痛感する毎日ですが、体（頭も）を出来るだけ動かし、老化防止に努めております。

根井 まり子（盛岡地区）

協議会設立 20 年とのことですが、私は入会 3 年目の新人です。長く続けていくためには無理をしないことも大事なかなあとと思います。自分のできることは協力していきたいと思います。

水野 由香里（沿岸地区）

2 年前にコロナワクチン集団接種の仕事をするようになった時に知人にすすめられ加入しました。退職してから数年経ていたのですが、今まで培ってきた経験をまだ生かせることが出来る場があった、と嬉しかったことを覚えています。今はコロナワクチン接種のほかに市の健診やガン検診に携わっています。1 月に 75 歳になり、まだ働けていることに感謝です。

佐々 和代（沿岸地区）



佐々木会長様へ

会長職大変お疲れ様です。看護連盟での出会いのころを思い出します。以前と変わらず前向きでお元気にお過ごしのことと存じます。私はナース（元）なのに脳梗塞になり不規則な生活をしたことを悔やんでいます。右側が動くので、市内の勉強会等には出ています。（皆さんのサポートをうけながら）活動 20 年おめでとうございます。続くように祈っています。

松村 トモエ（久慈地区）



お知らせ

新会員募集中！

～一緒に学び、活動してみませんか？～

「岩手県在宅保健活動者連絡協議会」は、専門職としての豊かな経験を生かし、市町村をはじめとする地域の健康づくりに取り組んでいます。

保健事業支援に必要な研修や情報提供、会員相互の交流をはかりながら楽しい活動を目指しています。

<入会の要件>

- ・県内で活動できる保健師・看護師（准看護師）・管理栄養士（栄養士）・歯科衛生士・助産師の資格を有する方

※臨時・嘱託で勤務されている方も入会できます。

◆◆◆お問合せ、入会につきましては、事務局までご連絡ください。◆◆◆



会員登録状況

(令和5年6月30日現在)

会員 82名



7名の新加入がありました！

保健師	38名
看護師・准看護師	25名
管理栄養士・栄養士	9名
歯科衛生士	8名
助産師	2名

【事務局】

担当 岩手県国民健康保険団体連合会 総務事業部 保健介護課 保健係

住所 岩手県盛岡市大沢川原3丁目7番30号

TEL 019-623-4324

FAX 019-622-1668